

2025 年度協会賞審査結果について

私立大学図書館協会
会長校 関西学院大学図書館
館長 難波 功 士
協会賞審査委員会
委員長 村 上 孝 弘
(龍谷大学図書館)

1. 日本工業大学 LC センター

(1) 推薦の概要

種 別：第 2 部（経営管理業績・協会活動業績）

(5) の 2 図書館・情報学・大学図書館発展への寄与部門

被推薦者：LC センター事務課 中村久美子

業 績：「2024 年度省エネ大賞」受賞

(主催：一般財団法人省エネルギーセンター、後援：経済産業省)

テーマ「大学図書館における快適空間と省エネを活用した身近な取り組み」

(2) 審査結果

採択

(3) 審査結果通知に記載するコメント（採否の理由・付帯意見など）

日本工業大学 LC センターが実施した省エネルギー施策は、空調・照明の運用改善や自然換気の活用、カーテン利用、照明の間引きなど、特別な設備投資を伴わずに取り組める汎用性の高い工夫を体系的に組み合わせ、総エネルギー使用量 31%削減、光熱費約 766 万円削減という顕著な成果を挙げた点で高く評価される。これらの施策は個々として新奇性は高くないものの、館内温度調査や BEMS 分析を基に、建物特性を踏まえつつ総合的に改善を進めた点に本取組の独自性がある。また、集中管理方式であった空調制御を個別管理へ転換し、快適性と省エネを両立させた点は、建物構造の課題を克服した先導的事例といえる。

さらに、本取組が「2024 年度 省エネ大賞（省エネルギーセンター会長賞）」を受賞したことは、成果とプロセスが外部評価によって裏付けられた証左であり、大学図書館の経営管理に資する実践モデルとして意義が大きい。中村氏が中心的役割を果たしつつ、日々の積み重ねによる現場スタッフの共同的努力によって実現したものである点も特筆される。エネルギー関連経費の高騰が続く今日、大学図書館が主体的に取り組める支出削減策として他館にも応用可能な価値を持つ点も評価される。

以上のことから、本件は協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（ア）、（エ）、（キ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。

2. 早稲田大学図書館

慶應義塾大学メディアセンター

(1) 推薦の概要

種 別：第1部（図書館・情報学の研究・調査業績）

(2) 図書館事業部門

被推薦者：早稲田大学図書館

慶應義塾大学メディアセンター

業 績：早慶和書電子化推進コンソーシアム

(2) 審査結果

採択

(3) 審査結果通知に記載するコメント（採否の理由・付帯意見など）

早稲田大学図書館と慶應義塾大学メディアセンターによる、和書電子書籍の拡充と新たな購読モデル構築を目指した共同プロジェクトは、大学図書館界に大きな実務的貢献をもたらした取り組みである。両館は2022～2024年度にわたり書店・出版社と継続的な対話を行い、電子書籍利用が急増したコロナ禍で顕在化した課題に対して実証的データと検証環境を提供し、出版社の意思決定を後押しした。この過程で得られた知見は、電子書籍の新規コンテンツ開発や購読モデルの検討に資するものであり、大学図書館・出版界・利用者の三者に利益をもたらした点が高く評価できる。

また、アンケート・インタビュー・成果報告会により、利用傾向の分析や和書電子化の課題が整理され、広く共有されたことで、他大学にとっても有用な先行事例となった。国内の和書電子化が遅れる中、私立大学図書館が連携して課題に取り組んだ意義は大きく、電子資料環境の改善に向けた実践モデルとしての価値は高い。既存システムを活用したコスト配慮や職員の主体的な取り組みも特筆され、創意工夫、波及性の両面で協会賞にふさわしい業績である。

以上のことから、本件は協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（エ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。

以上